

令和5年度学校運営協議会委員評価報告書

学 校 名 湯梨浜町立泊小学校
 校 長 名 岡本 律子 印

評価日 令和6年2月22日(木)	
評価・提言	学校の所見・改善策等
<p>(1) わかる授業の創造と確かな学力の育成 【評価A】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高学年の学習への理解について肯定的な評価が100%であることから、分かる授業が積みあがっていると考えられる。 ・ICTの活用が大変進んでいる。保護者や児童の評価も高い。 ・ICTの活用においては、手で書くことも大切にしながら、学習の目的や児童の状況に応じて、使い分けながら進めてほしい。 ・読書の推進、家庭学習の定着については、改善の余地がある。推進の方法や指導の工夫を検討することも考えてほしい。 <p>(2) 豊かな心の育成 【評価B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童は落ち着いて学習に取り組んでいる様子がよくわかる。学校側の評価が低いことは自ら厳しく評価しているのか。児童はあいさつなども頑張っている。 ・全体的に落ち着いた雰囲気であるが、行き渋りや不登校等、個々の児童にとっては学校が安心できる場所ではないことも考えられる。 ・落ち着かない児童もいるが、人を思いやる気持ちを持っている子どもたちなので、一人一人の良いところを伸ばしてほしい。 <p>(3) 健やかな体づくり 【評価A】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り組みが進んでいる。体力テストの結果も全国や県の平均を上回る状況がある。課題となるところに指導の工夫をしてほしい。 ・病気欠席は全体的に少なく、よい。 ・基本的な生活習慣の定着やメディアとの関わりについては、保護者と連携しながら取組を進めてほしい。 ・視力の低下や姿勢の悪さが気になる。具体的な取組を検討してほしい。 <p>(4) ふるさとを誇りに思う児童の育成と開かれた学校づくり 【評価A】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者、児童のアンケート結果から、質問に対する肯定的な意見がほとんど90%を超えている。 ・年間を見てみると様々な取り組みができた。体験のみの学習になってしまうことがあるので、教育課程への位置づけなど、実施する意味を明確にして、最終的には地域のために何ができるかなど、児童が主体的に地域に関わる意識を高める学習にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○研究推進の中で効果のある取組を授業に取り入れ実践したことが評価につながった。 ○ICT機器の積極的な活用が進み、授業改善、校務の効率化につながった。 ○読書の推進や家庭学習への取り組みは具体的な手立てを考え実施する。 ○規範意識が身につかない児童や遊び半分の冷やかしで友達を傷つける言動などが見られた。 ○これからも児童の思いに耳を傾け、理解しながら、人を大切にすることを指導していく。 ○児童のアセスメントの実施と分析・対応を継続的に行う。 ○体育学習や体力向上等に係る行事において、児童の意欲を高め取組を進めた。 ○メディアとの関わりについては課題が残る。PTA活動や学校保健委員会を通して保護者と連携して進めたい。 ○児童が主体的に地域に関わる活動につないでいきたい。 ○1年生から計画的に地域に触れる学習を実施する。 ○たよりやHP等で学校の様子を積極的に発信する。